

呉工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	情報処理Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号		0056		科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		電気情報工学科		対象学年	2		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		大川内 隆朗, 大原 竜男 共著「かんたんC言語[改訂2版]」（技術評論社）,プリントなど					
担当教員		井上 浩孝					
到達目標							
1. 文字の入出力と簡単な数値計算のプログラムを作成できる 2. 条件分岐と繰り返しを用いたプログラムを作成できる 3. 多重繰り返しを使った応用プログラミング法を身につける 4. 配列の利用方法を理解する 5. 数学関数の利用方法を理解する							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		条件分岐と繰り返しを用いたプログラムを適切に作成できる		条件分岐と繰り返しを用いたプログラムを作成できる		条件分岐と繰り返しを用いたプログラムを作成できない	
評価項目2		多重くり返しを理解しプログラムを作成できる		多重くり返しを理解する		多重くり返しを理解できない	
評価項目3		数学関数の利用方法を適切に作成できる		数学関数の利用方法を理解する		数学関数の利用方法を作成できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HB)							
教育方法等							
概要		C言語によるプログラミング技術を身につける。					
授業の進め方・方法		座学を中心に行い、実データの取り扱いを含む演習を行いながら理解を深める。 【進捗の影響により、授業内容を一部変更する可能性があります。】					
注意点		プログラミングは慣れと経験が重要です。時間の許す限りなるべく多くの訓練をしてください。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, C言語の基礎		ガイダンス, C言語の基礎 ソフトウェア開発とプログラミング		
		2週	基本入出力		変数と値, データ型, 演算と演算子		
		3週	条件分岐		制御構造を理解する		
		4週	くり返し処理		くり返し処理を理解する		
		5週	条件分岐とくり返し処理の組み合わせ		条件分岐と繰り返しの組み合わせのプログラムを作る		
		6週	条件分岐とくり返し処理の組み合わせ		条件分岐と繰り返しの組み合わせのプログラムを作る		
		7週	中間試験				
		8週	答案返却・解答説明				
	2ndQ	9週	多重くり返し処理		多重のくり返し処理を理解する		
		10週	配列		配列を理解する		
		11週	数学関数		数学関数の使い方を理解する		
		12週	多重くり返し処理		多重のくり返し処理を理解する		
		13週	ユーザ定義関数		ユーザ定義関数を作る		
		14週	応用プログラミング		応用プログラムを作る		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却・解答説明				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		2	前5,前6
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		2	前5,前6
				同一の問題に対し、それを解決できる複数のアルゴリズムが存在していることを知っている。		3	前14
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	40	0	0	0	30	0	70
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0